



第76号

東稲ニュース

祝 20周年記念特集号

早稲田大学校友会東久留米稲門会

平成26年5月10日発行

発行責任者 安次峰暁

編集責任者 別処尚志

E-mail:satoru_ajimine@hotmail.co.jp

http://homepage2.nifty.com/35292/

20周年特集

20周年をむかえて

20周年記念事業実行委員長 渡辺 真司

20周年記念事業へ思い切って参加してみよう！！

先月4月20日、第20回定時総会を盛会のうちに終えることができました。平成7年4月東京都内33番目の稲門会として産声をあげた当会、諸先輩方の熱い思いに支えられて発展して来ました。こうして迎えた20年、先人の努力に敬意を表し、築き上げてきた会員全員で祝い、大いに喜び会いましょう。そしてそのエネルギーを礎にして未来へ向かって前進して参りましょう。

20周年記念事業に多くの会員のご参加を……

5月は稲門会の月 もりだくさんのイベントが 11月はその集大成 コピット やろろ

5月の20周年記念イベント

- 5月25日(日) ウォーキングの会 黒目川原流から東久留米駅へ
(道中ワセダの先輩、野口雨情を偲んでのイベントあり 村野邸見学)
- 5月29日(木) 映画鑑賞会 (成美教育文化会館)
「風と共に去りぬ」……懐かしの超大作上映……乞うご期待
- 5月31日(土) 早慶戦応援・観戦 (明治神宮野球場)
特等席準備、座席指定の為、参加申し込みのまだの方、大至急渡辺まで連絡を
残席僅少 定員に達し次第締切

<今後の予定>

- 11月23日(日)～24日(祝) 稲門会「私の力作」展 (成美教育文化会館)
趣味の写真、水彩、油絵、水墨画、俳句、短歌、書、手芸、陶芸、絵手紙など
自慢の作品をご披露下さい。
- 11月24日(祝) “記念コンサート” 「20周年記念誌」プレゼント (成美教育文化会館)
 - 早大ニューオーリンズジャズクラブ 60年近い歴史をもったデキシーランドジャズのサークル
 - 地元の音楽グループ (交渉中)

会の告知板

【部会予定】

- | | | |
|----------|--------------------------|----------------|
| 5月12日(月) | ゴルフ部会「稲門例会」 | 玉村ゴルフ場 |
| 5月25日(日) | ウォーキングの会 (20周年記念事業) | 09:00 東久留米駅改札口 |
| 5月29日(木) | 映画鑑賞会「風と共に去りぬ」(20周年記念事業) | 13:00 成美教育文化会館 |
| 5月31日(土) | 早慶戦観戦会 (20周年記念事業) | 10:15 東久留米駅改札口 |
| 6月8日(日) | 囲碁部会「オール早稲田囲碁祭」 | 日本棋院 |
| 6月8日(日) | 第1回役員会 | 16:00 生涯学習センター |
| 6月9日(月) | ゴルフ部会「三田会合同ゴルフ会」 | 熊谷ゴルフクラブ |

【大学・校友関係】

- 6月1日(日) 西東京稲門会総会

[会の報告]

20周年特集◎東久留米稲門会第20回定時総会報告

<第一部>文化講演会

小牧完次幹事の司会により、原 武史 明治学院大学教授（市内第七小卒、早稲田大学政経学部卒）による、「東久留米のアイデンティティとはなにか」というタイトルの講演会であった。

内容概略は、東久留米のアイデンティティを考える要素として、滝山団地の分譲優位及びそこに住む革新系知識人と共産党系自治会の活動による特異性、黒目川・落合川という荒川支流に分布する氷川神社から推測される氷川神社祭祀圏という、東京東部との地域性の違い、西武線沿線に住みながら反西武鉄道の住民意識などが考えられ、都民、市民という行政の枠組みとは異なるアイデンティティの構築を提唱するものであった。



原 武史教授

別処尚志記

<第二部>定時総会

平成 26 年 4 月 20 日(日)、午後 3 時 45 分より、成美教育文化会館で第 20 回定時総会が開催された。来賓東久留米市長並木克己氏、内田勝一早稲田大学副総長含む 15 名、会員 54 名の参加のもと藍原副会長の司会で総会は開会された。

安次峰会長より、来賓の紹介と稲門会の活動状況を含む挨拶があり、安次峰会長の司会で議事が進行された。平成 25 年度事業報告、収支報告、監査結果報告に続き平成 26 年度事業計画、収支計画の承認に続き 20 周年記念事業の説明をされた。



内田勝一 副総長

つぎに来賓祝辞として東久留米並木市長より、稲門会活動のお礼と東久留米市の財政削減の必然性の挨拶があり、内田勝一早稲田大学副総長より、早稲田大学「グローバル 30」の説明を含む挨拶のもと閉会となった。

高橋哲男記



並木克己 東久留米市長

第 20 回定時総会会長挨拶

東久留米稲門会 会長 安次峰暁

こんにちは、東久留米稲門会会長の安次峰です。只今の原先生のご講演は東久留米市に住んでいる者として大変興味深いお話でした。本当に有難うございました。

本日はご多忙にもかかわらず、「東久留米稲門会第 20 回定時総会」大勢の方に御出席頂きまして誠に有難うございます。又、東久留米市長の並木様のご着任なさって 3 カ月ということで大変お忙しい最中にもかかわらずご出席いただき、そして、早稲田大学より内田様、河口様、それから、東久留米三田会様、近隣の稲門会として、清瀬、小平、西東京、東村山、各稲門会様がご来賓と



してご臨席賜っております。厚く御礼申し上げます。

昨年(2019)の第19回定時総会で役員(2020)の改選が行われ、この一年間新しい体制で進んでまいりました。この一年を振り返ってみますと「秋の旨いもの会」「新年会」という行事を皆様方のご支援のお陰で、にぎやかに実施できました。そしてこの総会で三つ目の大きな行事として行っているところであります。

会員数が165名ということで昨年よりほんの少しではありますが増えたこととなります。

部会の活動ですが、15ある部会のうち、私の担当しております「山歩き会」が開催できませんでした。反省しているところであります。後任を早いうちに決めて開催できるようにしたいと思っております。その他の部会については、定期的なまま活発に活動を続けております。来月は「旅行部会」がバスを借り切った一泊旅行を予定しております。是非ご参加下さい。

広報活動の一つで東久留米市に寄与するという事で、市民の方々に好評を博している「映画鑑賞会」はスタッフ共々ますます市民のみなさまの心のよりどころとされております。同じく広報活動の一つ「東稲ニュース」については、一カ月おきに途切れることなく発行でき、第75号を「総会特集号」として発刊しました。これもひとえに各部長ならびに広報の担当者やスタッフの皆さんの並々ならない情熱のお陰だと感謝いたしております。

同じ広報活動の一つで「ホームページ」だけが滞っております、なんとか早い機会に立ち上げたいものと考えております。それにしても、前任者の力がいかに大きかったかということをも痛感致しているところであります。

それから、懸案であります20周年を記念する行事であります、一部については終了しているものもありますが、これからが本番というところにさしかかっております。11月24日に「記念コンサート」と「記念パーティ」を行う事。それから、「記念誌」を発行するという大きな行事で締めくくるという予定になっております。それぞれ役員(2020)の皆さんが大変な思いをしながら頑張っているところであります。是非とも成功させて下さいませよう会員の皆様(2020)がたのご支援ご協力を何卒宜しくお願い申し上げます。

話は変わりますが、今年の初めごろ第四代目の会長でありました市川英雄さんが病気のためにお亡くなりになりました。それまで東久留米稲門会では初代会長より歴代会長が全員そろってご健康でいらっしゃるということを私は誇りに思っておりましたし、励みにもしておりました。とても残念に思っております。

最後に皆様(2020)がたのますますのご健勝とご発展をお祈り申し上げ挨拶とさせていただきます。有難うございました。

<第三部>懇親会

定時総会が少々延びたせいで第三部の懇親会も10分ほど遅れて開始。司会は若手役員(2020)の村上万里さん。参加者約70名。まず、大学の地域担当副部長の河口俊二様、続いて東村山稲門会会長の當間様、東久留米三田会会長の野崎様と祝辞が続いた。次に乾杯の音頭はいつも通り初代会長の安宅さん。記念すべきこの年の杯を高く挙げて祝う。美酒を注ぎ注がれつ、それぞれの話題でテーブルを中心に懇親の輪が広がっていった。今回は特に余興などは計画されてなかったが、早稲田祭実行委員の学生3人も駆けつけて会を大いに盛り上げてくれた。学生の募金箱に続々とお札が入れられ、彼らも満足してくれただろう。また当会の稲門祭実行委員からも景品購入要請がなされた。

閉会の辞は3代会長の帆角さん。フィナーレは恒例の大矢さん指揮、大島さんのハーモニカで、まず「若き血」で慶応を称え、「都の西北」の大合唱で幕を閉じた。

河村洋子記



乾杯の音頭は安宅武一初代会長



恒例の校歌斉唱

<出席者> (敬称略)

【来賓】東久留米市：並木克巳(市長)、早稲田大学：内田勝一(副総長 常任理事)、河口俊二(地域担当副部長、総務部調査役)、三田会：佐藤柳次郎(特別顧問)、野崎陽一(会長)、田島正延(幹事長)、島崎孝(副幹事長)、清瀬稲門会：宮坂明男(会長)、堀内知行(副会長)、小平稲門会：伊藤順藏(会長)、二又祐一(副幹事長)、西東京稲門会：松尾良久(副会長)、古賀良郎(副会長)、東村山稲門会：當間昭治(会長)、大内一男(副会長兼事務局長)、

【会員】藍原昌義、安宅武一、安次峰暁、鮎貝盛和、安藤信雄、井坂 宏、石寺美弥子、伊東毅、上田芳裕、栄田卓弘、栄田征子、榎本隆司、大島勝典、大矢真弘、岡野幸子、小野泰右、小山田朋樹、梶井琢太、川俣栄一、河村洋子、神田尚計、菊池伸明、吉川明美、久家政裕、国米家巳三、呉淳久、後藤秀作、小牧完次、酒井正敬、佐藤一郎、佐藤雄二、島田好多、清水正弘、大工原善夫、高橋哲男、高柳康夫、橘優治、辰巳徳蔵、塚越崇、東海俊孝、長束輝夫、納見美枝子、長谷山勝美、馬場清彦、比護喜一郎、菱山房子、平山正経、船津高志、別処尚志、帆角信美、本間信一、松崎博、松本弘也、村上万里、武藤豊、村野建彦、山口賢二、山崎敬雄、米光慶二郎、渡辺真司、

<稲門祭記念品購入のお願い>

毎年恒例、稲門祭記念品購入のお願いです。収益が全額「校友会奨学金」となり、在学生への支援となります。すでに定時総会で記念品の購入をお願いしましたが、総会に出席されなかった会員の皆様も是非ご協力をお願いいたします。2千円コースから1万2千円コースまで13品目あります。

1万2千円コースA：腕時計(ゴールド)、B：腕時計(ブルー)、**1万円コース**C:陶杯<<稲穂>>(清水六兵衛窯監修)、D：adidas ウィンドブレーカー(Sサイズ)、E：adidas ウィンドブレーカー(Oサイズ)、**6千円コース**F：パスポートケース・カードホルダー付、G：高級扇子<<蘇芳地 金稲穂>>、**4千円コース**H：ネクタイ(シルバー)、**2千円コース**I：今治タオルマフラー・ハンカチセット、J：ゴルフマーカー、K：MIZUNO マーク入りゴルフボール、L：チェコ製ガラス爪やすり、M：LED ライト付クリスタルキーホルダー&携帯ストラップセット、

詳細は<<https://www.waseda-shop.com/plist71/>>で。

A～M の品目を指定し下記稲門祭実行委員までお申込みを。締切5月末日。代金は記念品と引き換え。

稲門祭実行委員 清水正弘 TEL&Fax042-474-9144 080-5182-6012<mshrmsz19713@ybb.ne.jp>

小山田朋樹 TEL&Fax042-478-6430 090-1884-7157<QZR12263@nifty.com>

「パンフレット」をご希望の方は、実行委員までご一報ください

平成 25 年度決算／平成 26 年度予算

平成 25 年度収支決算及び平成 26 年度収支計画が、下記の通り総会において承認されました。

平成 25 年度 東久留米稲門会収支決算書

平成 26 年度 東久留米稲門会収支計画

| 収入の部 | | 支出の部 | | 収入の部 | | 支出の部 | |
|--------------|-----------|------------|-----------|--------------|-----------|----------|-------------|
| 年会費 | 495,000 | 総会費 | 76,435 | 年会費 | 480,000 | 総会費 | 80,000 |
| (165名×3,000) | | 通信費 | 21,750 | (160名×3,000) | | 通信費 | 30,000 |
| 組織強化補助金 | 248,000 | 印刷費 | 66,640 | 組織強化補助金 | 248,000 | 印刷費 | 70,000 |
| 預金利息 | 117 | 消耗品費 | 31,958 | | | 消耗品費 | 30,000 |
| 雑収入 | 47,644 | 交流費 | 30,000 | | | 近隣稲門会交流費 | 70,000 |
| | | 部会補助金 | 0 | | | 交通費 | 20,000 |
| | | イベント補助金 | 59,221 | | | 部会補助金 | 100,000 |
| | | 寄付金 | 77,240 | | | イベント補助金 | 60,000 |
| | | 弔慰金 | 25,750 | | | 寄付金 | 80,000 |
| | | 雑費 | 11,595 | | | 20周年事業費 | 735,900 |
| | | (支出計) | (400,589) | | | 雑費 | 40,000 |
| | | | | (収入計) | (728,000) | 予備費 | 50,000 |
| (収入計) | 790,761 | 20周年事業費前払金 | 85,900 | 前期繰越金 | 813,884 | (支出計) | (1,365,900) |
| 前期繰越金 | 509,612 | 繰越金 | 813,884 | 20周年事業費前払戻 | 85,900 | 繰越金 | 261,884 |
| 合計 | 1,300,373 | 合計 | 1,300,373 | 合計 | 1,627,784 | 合計 | 1,627,784 |

(監査報告) 東久留米稲門会規約第 7 条に基づき、平成 25 年度の決算書類について監査の結果、適正なることを認めます。平成 26 年 4 月 9 日 東久留米稲門会会計監事 東海俊孝[㊞] 吉川明美[㊞]

◎校友会春季代議員会報告

3月8日(土)16:00より大隈講堂にて開催。鎌田総長、福田校友会代表幹事の出席のもと友金事務局長の司会により、2013年度活動報告、2014年度活動計画、校友会規則・規定一部改正等が協議、承認された。また、2013年稲門祭決算、2014年稲門祭の趣旨及び10月19日(日)開催等が報告され、校友会給付奨学生による近況報告とお礼があった。

別処尚志記

◎役員会報告 平成 26 年度臨時役員会が 4 月 6 日(日)16:00より生涯学習センターで開催された。

議事録概要

1. 「第 20 回定時総会」準備状況確認と役割分担 13 日(日)16:00～総会資料印刷
2. 20 周年記念事業の進捗状況確認、「記念誌」の原稿集まり状況チェック。体裁、見積を急ぐことに
3. 平成 25 年度決算状況の確認。校友会本部の「組織強化補助金」、平成 26 年度も獲得を目指すことに。

部会だより

20 周年特集 << 20 周年記念イベント告知 >>

その1; <20 周年記念事業 ウォーキング> 5 月 25 日(日)

20 周年記念「ウォーキング」へのお誘い

——村野邸の見学、東久留米の湧水・清流の散策——

“東久留米市は、都心から北西へ 24 km、武蔵野台地のほぼ中央に位置しています。地形的には標高 70～40mの



範囲で西から東になだらかな傾斜をしています。武蔵野台地は今から約 12～13 万年前から約 6 万年前まで流れていた古多摩川の作った扇状地の上にあるので、東久留米市の地下には多量の地下水が流れています。その為、市内の谷地、川筋の多くの箇所からは地下水が湧水となって小さな流れをつくり、黒目川・落合川・立野川等となり、西から東に流れています。”（東久留米の湧水マップより引用）

今回は、私達の住む街が地下からの贈り物の恩恵に浴していることを感じながら、黒目川水系に沿ってその源流部から市の中心部まで、湧き水の流れに沿って歩きます。また、ウォーキングの途中には、国の登録有形文化財「村野家住宅」―市内に唯一現存する江戸時代の茅葺民家―を訪ねる機会を得ました。多くの皆様のご参加をお待ちします。

東海俊孝記

<実施要領>

日時：5月25日(日) ☆雨天の場合：5月27日(火)に延期

集合：9:00a.m. 東久留米駅改札口 事前申し込み不要

費用：参加費 300円 自己支払 交通費 237円 村野邸入園料 500円 昼食代・飲料代

行程：6～7km程度<小平駅 → 小平霊園(さいかち窪) → 村野邸 → 柳窪天神社 →

しんやま親水公園(昼食) → 黒目川に沿って東久留米駅まで散策 → 解散>

連絡先：東海(とうかい)俊孝 TEL:042-473-8566 e-mail:toshi-tokai@kvj.biglobe.ne.jp

その2；<20周年記念事業 映画鑑賞会> 5月29日(木) 13:00～ 於：成美教育文化会館

『風と共に去りぬ』 ----- 東久留米稲門会 20周年記念事業として取り上げました特別企画 -----

ご存知、この作品は1939年と70年以上前の映画ですが、長い映画史(約120年)の中で燦然と輝く金字塔を打ち建てました。アカデミー賞8部門で受賞、原作は若く無名のマーガレット・ミッチェルで、南北戦争を背景に描いた人間ドラマです。この小説に逸早く目を付けたのは、野心的で気鋭のプロデューサー、デヴィット・O・セルズニックで安い版権で手に入れ、膨大な費用をかけ、莫大な利益を得ました。

主な役名とキャスト

・スカーレット・オハラ＝ヴィヴィアン・リー (英国の女優 恋人のR・オリヴィエがハリウッドに招かれ、彼の浮気が心配でハリウッドへ。そこでセルズニックの目にとまり、一躍拔擢された。アカデミー主演女優賞、この作品を含め2度受賞)

・レッド・バトラー = クラーク・ゲイブル (野性味溢れるハリウッドのキングと呼ばれた男。ただし、口が臭く、キッスシーンでは相手役のヴィヴィアン・リーに嫌われる)

・メラニー = オリヴィア・デ・ハビランド (東京生まれ、当時主役級の女優であったが今回は脇へ。アカデミー主演賞2度の実力派。妹も女優で人気の高いジョン・フォティーン)

・アシュリー = レスリー・ハワード (英国の舞台俳優。知的で端正なマスクで女性に印気があったが、この映画の数年後に飛行機事故で死去)

【監督】 ヴィクター・フレミング (一応監督として名をつらね、アカデミー監督賞も受賞しているが、何人もの一流監督がプロデューサーと意見が合わず交替させられている。実質的にはデヴィット・O・セルズニックが監督を兼ねたと云われている)

【番外】 小津安二郎監督 (戦時中従軍記者としてシンガポールへ。そこでこの作品を観てビックリした。こんなすごい映画を製作するアメリカと日本は戦争している。勝利(かてる)筈がないと思ったそうである。

(注) この作品は3時間30分(前・後編)の超大作で、開場を午後1時、上映は1時30分に変更します。前篇が終わったところで20分間トイレ休憩を挟みます。終演は5時30分の予定。

米光 慶二郎記





その3 ; <20周年記念事業 野球早慶戦観戦会> 5月31日(土)

若かったあの頃に戻って、神宮の柱に熱き血潮をたぎらせろ!!



「早慶戦の応援を経験して、初めて本当の早大生になる」と言われますが、あの球場での一体感を再び学生応援席近くで味わうことが出来ます。今回は 20 周年記念イベントとして特別に大矢会員のご厚意で、特別席をご用意いただきました。早慶戦独特のあの熱気を、再び味わいに神宮球場へ行きましょう！限定席のため先着順で受付定員に達し次第締切となります。残席僅少。渡辺真司記 申し込み先：渡辺 真司 TEL042-478-6023

20周年特集 << 20周年記念イベント報告 >>

<太極拳の集い 「太極拳を楽しもう」>

稲門会 20 周年記念事業の先陣を切って、太極拳部会が“部会員と一緒に太極拳を楽しもう”という行事を行いました。日にちは 3 月 15 日・土曜日。青空の下では満開の梅がほのかに甘い香りを放っていました。部会員は紺、白、赤、黄、薄緑のユニフォームをそれぞれ着て勢揃い、会場は花が咲いたかのような明るい雰囲気になりました。部会員に誘われて、稲門会の会員、部会員の家族や知人友人も次々と姿を見せ、開始予定の 10 時までに部会員を含めて 40 人が会場に集まりました。

一般参加者も部会メンバーと一緒に太極拳を体験



そして部会員と一般の人々が入り混じった形で会場に並び、鮎貝部会長の挨拶のあと、渡辺さんの指導のもと参加者全員で準備体操をして体をほぐし、そのあと楊名時二十四式健康太極拳を通して演じて、



東久留米稲門会 20 周年記念イベント第一弾「太極拳を楽しもう」に参加のみなさま

一般の人々にも太極拳の動きを体験してもらいました。さらに部分稽古を4つくらいやってから鮎貝さんにバトンタッチ。鮎貝さん指導のもと、参加者全員で簡化二十四式太極拳の部分稽古を行い、一般の人々に楊名時二十四式健康太極拳と、簡化二十四式太極拳の違いをちょっぴり味わってもらいました。一般の人々は、戸惑いながらも近くにいる部会員の動作を真似たりして、楽しそうに演技しているのが印象的でした。

このあと会場を2階の料理・創作室に移して、参加者同士による交流の場として懇親会を設けました。飲み物、食べ物はすべて当部会で用意して提供。参加者38人は6つのテーブルに別れて座り、楽しく飲んで食べて語り合っ2時間ほど過ごしました。そして最後に早稲田大学の校歌を1番だけ歌い、懇親会は和やかな雰囲気のもとお開きとなりました。

40人もの人が1つの会場に集まって太極拳を体験し、1つの場に集まって懇親を深めました。当部会は今回の行事で“部会員と一緒に太極拳を楽しもう”という目標を達成し、あとに続く各部会の20周年記念行事の先導役を果たすことができました。

帆角信美記

【部会報告】

<女性サークル>

桜が咲き始めた3月26日(水)、女性サークルの今年度最後の活動として、昼食会が幸まる寿司で開かれました。集まった11名の中には、初めての方や引っ越して久しぶりの方もいました。

はじめに平成25年度の会計報告と事業報告が行われ、来年度の部会長も引き続き吉川が務めることになりました。

その後は美味しいお寿司をいただきながら、最近の話題や健康、グルメ情報など話が弾み、最後に次回の活動は6月に紫陽花を見に行くことを決めて散会しました。散会後も有志で場所を変えて語り、親睦を深めました。

吉川明美記



幸まる寿司で女子会

<俳句部会>

3月16日(日) 第164回句会 於：商工会館

兼題：「草餅」、「春光」、

春光を皆んな集めて一年生
鳶職の大口に食う草の餅
嬉しくてふと寂しくて卒園日
ほぐれたる春の雲とも昼の月
春光や絵硝子まぶし天主堂
火の国の古民家てらす紅椿
売り切れの路地の老舗の草の餅
雲割れて春光一村領しけり
春光や湧きし如くに鮎の稚魚

松田博雄
杉本達雄
比護喜一郎
三田畔巢
河村洋子
河村洋子
棚野愛子
川俣栄一
松田博雄



4月13日(日) 第165回句会 於：生涯学習センター

兼題：「花冷え」、「螢鳥賊」、

| | |
|----------------------------------|------|
| 山寺の伽藍も塔も花の雲 | 川俣栄一 |
| 花冷えや悲喜 ^{こもごも} 交々の赴任先 | 川俣栄一 |
| 日も月も薄き ^{かさ} 暈着て花の冷 | 三田畔巢 |
| 風なくてはらりと散りし辛夷かな | 安宅武一 |
| 花冷えの今宵 ^{かいまきあごうず} 搔卷顎埋め | 安宅武一 |
| 花冷えや熱き紅茶の紙コップ | 神田尚計 |
| 花冷えの回転木馬一人のせ | 松田博雄 |
| 夜の綺羅波に散らして螢鳥賊 | 三田畔巢 |

※三点句以上



橘 優治記

<グルメ部会>

初めて会の行事に参加して・・・

4月30日 清瀬の蕎麦「みやもと」にての食事会に参加しました。約16名の方が参集され、天気は雨まじりのどんよりした天候でしたが、皆さんの元気なお顔を拝見しました。昭和30年代の卒業の方も多く見えられ、私は昭和30年一商卒ですが、さほどロートル意識を感じる事無く、談笑のなかに加わりました。

在校生時代は、商学部校舎の地下に、学生団体の会計学会が、貿易学会、証券学会と一室に同居しており、なかで会計理論につき、喧々譁々の議論を交わしていました。疲れると、雀荘で卓を囲むこともしばしば。先輩・後輩には、頭の切れの良い人が多くすこぶる刺激されました。故青木茂男先生には、千倉のお宅まで、学会仲間と御邪魔をし、大分お世話になりました。良い思い出が多く感謝しています。

先日の食事会では、早稲田寮歌の話が少し出ましたが、最近の学生さんは歌っているのでしょうか。「栄光は緑の丘に聳えたつ・・・早稲田・早稲田・早稲田」と口ずさんだものでしたが、今では記憶も薄れ残念です。曲調が穏やかで、紺碧の空等とはひと味違う趣きがありました。

13年ほど前に、膀胱がんを患い、全摘手術まで受けました。その後、再発が無く健康であっても出不精になり引き籠もり状態でした。今度の食事会を契機に、積極的に会合に参加しようと思っています。

市川三郎記

グルメ会参加のみなさま お店の前で記念撮影



<太極拳の集い>

4月5日(土)恒例のお花見を兼ねた「野外稽古」を狭山稲荷山公園で行いました。

3月の気温は中旬頃までは平年を下回り、桜の開花も遅れるのではないかと気を揉んでいましたが、下旬になると急激に気温が上がり、桜は一気に開花することになりました。当初、4月中旬頃を予定していましたが、桜の開花が一気に進んだことにより、急遽予定を早め4月5日に行くことにしました。

当日は20名の会員が集まり、やや気温は低かったものの、絶好のお花見日和で、稲荷山公園の桜も満開！お花見にはピッタリのタイミングの中での、野外稽古でした。(土曜日の稽古日に合わせているので、満開の時期に会うのは珍しいことです。ホームページを見たところ、4月11日で散り終りとなっていました)



桜を眺めながらの太極拳



当日お集まりの面々

ウォーミングアップの後、楊名時の健康太極拳、簡化二十四式太極拳の入門太極拳と初級太極拳を青空と満開の桜の下でのびのびと演武しました。花見に訪れていた人たちも遠巻きに眺めていたり、中にはこちらの動きに合わせて身体を動かしている方もいました。

太極拳の後は芝生に腰を下ろし、京樽の弁当、お酒、手作りの惣菜などなどを口にしながら、桜を眺め、思い思いのおしゃべりの時間を楽しみました。 鮎貝盛和記

投稿

第20回定期総会、新市長に臨席いただき予定どおり議事が進んだことは何よりでした。そこで気になったことを一言。議案説明者の紹介に敬称「さん」を付けていたことです。私の常識では、身内を紹介するときは「呼び捨て」または「職名を付ける」です。市長初め、大学関係者、近隣稲門会、三田会等のお歴々を前にして、日頃使い慣れない丁寧語を使おうとして、つい「さん」付けになったものと解釈したいのですが、列席の皆さんどのように感じたのでしょうか。私個人としては、非常に聞きづらい・居たたまれない思いで議事進行を見守っていました。

東稲ニュース読者の方のご意見を聞きたく投稿した次第です。老婆心ながら。

小言幸兵衛

※「投稿」をそのまま掲載いたしました。このご意見に対して「そんなに違和感はなかったヨ」等の、別の見解もあると思います。この件、毎年のごことすし、是非編集担当までご意見をお寄せください。次号に掲載いたします。(編集担当)

特別寄稿「市川英雄さんを偲んで」

私が市川さんと初めて話をしたのは11年前の「新年会」の時でした。半年前から＜映画鑑賞会＞のお手伝いをしていた頃です。にこやかに近づいて来、“米光さんは映画に詳しいですってネ。私も若い頃、学生時代には随分と映画には熱中しましたヨ。特に古いフランス映画が好きでネ。新宿の日活名画座は行きつけの喫茶店みたいなものでしたヨ”

“ところで、貴君は「商船テナシティ」を観ましたか、私はあの映画が好きでネ、何回も観ましたヨ恋愛悲劇の名作ですヨ”と云い、主人公が悲痛に発する長台詞を滔々と語る市川さんに驚きました。もちろん私も好きな作品でしたが、台詞までは覚えていません。市川さんは演劇関係の人かと思ったら、早稲田は政経学部で仕事は銀行関係だと知り、さすが早稲田にも身近にすごい人いるなと感心したものです。

市川さんが好きだった映画は上記の作品と「望郷」「大いなる幻影」でしたが、当時のフランスの四大監督を含めて上映してもらいたいと希望されていました。いつの日か実現できればと思っています。

※「商船テナシティ」 1934年 フランス 原作はシャルル・ビルドラフの戯曲

監督：ジュリアン・デュヴィヴィエ 主演：アルベール・プレジャン／マリー・グローリー
米光慶二郎記

東稲広報室

<訃報>

当会会員 白石春雄さんが、4月27日ご逝去されました。ご冥福をお祈りいたします。
なお、当稲門会からは、規定に従って通夜/葬儀に際し「生花」を供えました。

<総会/懇親会収支報告>

収入：184,000円（会費+祝い金）、支出：227,763円（会場費16,350円、ケイタリング120,000円、寿司46,440円、飲料30,109円、配膳他14,864円）、▲43,763円は一般会計より補填。

<ポストマン変更>

滝山6街区、石寺美弥子さんから西村享さんに変更になります。

<お詫びと訂正>

前号（東稲ニュースNo.75）の会員リレーエッセイ「噴水広場」で、電話番号の記載間違いがありました。お詫びして訂正いたします。関係各位に大変ご迷惑をおかけしました。申し訳ありません。（小山田）

「永楽倶楽部」電話番号（誤）TEL03-5380-0046 ⇒【正】TEL03-3580-0046

<事務局より>

- ① 来年度の定時総会は平成27年4月26日（日）になります。
 - ② 今年度会費（3,000円）の納入期限は5月末です。納入忘れの無いようお願いいたします。
 - ③ 今年度の会員名簿を作成し、7月に「東稲ニュースNo.77」と一緒に配布予定ですが、名簿に記載する個人情報（住所、電話番号、卒年、学部等）の「非開示」を希望する方は、5月末までに事務局までご連絡ください。
 - ④ 定時総会資料が20部程ありますので、ご希望の方は、着払いで宅配いたします。
連絡先 事務局 高橋哲男 TEL&Fax:042-474-2366 e-mail:bente-takahashi@jcom.home.ne.jp
-

写経からコピーの時代へ

船津 高志 (S57 理工)

私は、1997年10月、理工学部物理学科の助教授として早稲田大学に戻って来ました。電磁気学、生物物理学の講義や、理工学基礎実験1、理工学基礎実験2を担当しました。理工学基礎実験1は、理工学部の学生の必修科目であり約1,500人の1年生が実験を行うという大規模な科目でした。このレポートを助手と協力して採点するのですが、たいへんな作業でした。当時、Windows95の登場によってインターネットが一般家庭に急速に普及し始め、それによって困った事態が発生しました。何者かが、あるサイトに理工学基礎実験1の模範？レポート例を掲載し、自由にダウンロードできるようにしたのです。これを手に入れて「コピー」(copy and paste: コピーと貼り付けの略)すれば、レポートが1分で完成してしまいます。私たちは、このコピーによってレポートを作成した学生を厳重注意するとともに、その他に類似のレポートが複数枚見つかった場合は、作成した学生達(写す方と写される方)を呼び出して事情を問いただすことにしました。物理学科はコンピュータによるレポートの作成を引き続き認めていましたが、応用化学科は手書きのレポートのみに制限したと記憶しています。たとえ誰かのレポートを丸写ししたとしても、手書きならば、情報は目から脳、そして手へと流れるので少しは教育効果があるということでしょう。なお、助手の話によると、レポートを手書きで丸写しすることを「写経」と呼ぶのだそうです。

その後、事情があって2004年に東京大学大学院薬学系研究科に異動し、既に10年が経過しました。その間に、世の中の色々な物(テレビまで)がデジタル化され、「写経」から「コピー」の時代へとすっかり変わってしまいました。昨年度からは、国立国会図書館に提出する博士論文もデジタルファイル(pdf: Portable Document Format 形式)が要求されるようになりました。学术论文のほとんど全てがデジタル化されインターネットで公開されるようになった結果、データの改竄や他人の論文の剽窃などの不正行為は、大衆の監視によって明らかにされるようになりました。論文の「コピー」に関しては、「iThenticate」と呼ばれるiParadigms社が提供するサービスがあり、調査したい論文と、インターネット上で公開されている文書情報とを比較して「類似度」を判定することができます。また、学生のレポートに関しては、「Turnitin」というサービスがあって、「コピー」を暴くことができます。これらのサービスを、早稲田大学の教員が利用できるようになっています。このように、今ではデジタル化の推進とインターネットの普及のおかげで「コピー」を行いにくい環境になっているのです。また、データの改竄も大衆の監視により困難になっています。しかし、一部の卒業生が発表した学术论文が世間の批判を受ける事態になったのは残念なことです。

このエッセイを書くにあたり、完全にオリジナルな文章を書くように心がけました。しかし、資料をインターネットで調べたり確認したりしているうちに、気が付かないうちに2%くらい「コピー」をしていました。誠に申し訳ありません。

<編集後記>

5月5日は端午の節句、今年は「立夏」でもあります。端午の節句は、中国の風習が日本へやってきたもので、中国では健康を願い菖蒲酒を飲んでいたものが、日本では菖蒲湯に入るようになった！とか。4月20日の総会も成功裡に終わり、3月の太極拳で始まった20周年記念事業は、5月8日～9日の旅行、25日のウォーキング、31日の野球早慶戦観戦へと続きます。多数の皆様のご参加をお待ちします。